

第一期篠山市女性委員会

提言報告書

平成13年3月

篠山市女性委員会

～ 目 次 ～

♣はじめに

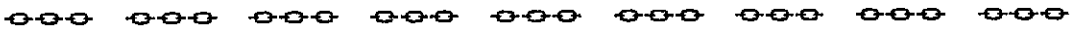
♣女性問題部会 1～8

♣福祉部会 9～15

♣教育部会 16～28

♣環境部会 29～33

♣活動内容 34～35



(以下省略)

♣女性問題部会資料 1～8

♣福祉部会資料 1～7

♣教育部会資料 1～54

♣環境部会資料 1～2



はじめに

第一期篠山市女性委員会提言報告にあたって

篠山市女性委員会は、平成11年4月新市発足にともない、『女性の視点を通してのまちづくりへの提言』を目的として、19名の委員で構成され、活動に取り組んでまいりました。

11年度は、新市を知ることを一つのテーマとして“市行政についての学習”“市内施設の現地視察”“福祉や環境を考える研修”“ジェンダーについて”など、また、広く学ぶ意味から「日本女性会議」への参加や「公開フォーラム」の開催など、委員自らの意識の向上を図ることに重きをおいてまいりました。

12年度は、11年度の活動をもとに“女性問題”“福祉”“教育”“環境”と4部会に分かれて、それぞれの分野で調査・研究を深める活動を行うと共に、兵庫県相生市、養父郡養父町、愛媛県今治市と多くの女性委員会や女性グループとの交流の機会を持つこともできました。

日本の社会においては、平成11年6月に男女共同参画基本法が成立し、12年には介護保険制度の実施など、また、篠山市においても13年にはチルドレンミュージアムの開設、14年には清掃センターと斎場の開業など、目に見える形で変わり行く今、後世に悔いを残さない「まちづくりへの取り組み」と「市民参画の必要性」がことに大切になってきます。

ここに、私たちの研究調査や活動報告とともに、女性の視点でまとめた提言を最終報告として提出させていただきます。この報告書が市の政策に活かされ、すべての人々がいきいきと輝いて暮らせるまちづくりが推進されますことを切望いたしますとともに、次期女性委員会の参考資料として引き継がれることを期待いたします。

おわりに、温かいご理解とご指導、ご支援をいただきました市当局に対しまして、委員一同心から御礼申し上げます。

平成13年3月5日

篠山市女性委員会